

SHINE'S for Recruit

Vol. 4

2026年2月発行

支えられた経験を、支える力へ。

新生リーダーの原点。

第二事業本部 北陸統括部
若狭事業所

SHINE'S

若くしてリーダーを任される彼の信条は「機械を見るより人を見ること」。

その想いは、キャリア最大の試練を乗り越える中で育まれたものでした。困難な日々を成長の糧に変えた、物語に迫ります。

01 仕事で心がけていることは何ですか。

「機械を見るより人を見る」を大切にしています。機械のメンテナンスもちろん重要ですが、それ以上に、リーダーとして一緒に作業してくれるメンバーの体調面などを気にかけるようにしています。この考え方の原点にあるのは、私自身の経験です。リーダーになる前、当時のリーダーだった方が、私のことをとても気にかけてくださいました。入社後は仕事を覚えたり、研修の繰り返しで常に新しい環境に身を置いていましたから、不慣れな中で見守っていただけたことがありがたく、精神的な支えにもなりました。だから今度は自分が、メンバーにとってそういう存在でありたいと考えています。



02 自身の成長について感じることを教えてください。

将来仕事に役立つ資格を取りたいと考えていた私にとって、資格取得も支援してくれる充実した教育制度は入社を決め手の1つです。まさに自分のスキルを高める機会だと捉え、パナソニックグループの社内検定である「実装エンジニアリング」の1級取得に挑戦しました。

そして何より、上司や先輩の存在が支えになり、技術的な指導だけでなく、トラブルに対応するときに「なぜ」を突き詰める大切さも学んだと感じています。トラブル解決のノウハウを蓄積できたことで、今では何か問題が起きても「こうすれば解決できるかもしれない」と、ある程度自分で道筋を立てられるようになりました。初めて1人で設備のデータの作成から生産までを一気通貫で任せてもらえる機会があり、やり遂げられた経験は、大きな自信に繋がっています。

「機械を見るより人を見る」。その信条は、困難な状況で人の温かさに支えられた経験から生まれたものでした。試練を成長の糧に変えた力強い歩みは、多くの仲間に勇気を与えるでしょう。大きな試練を乗り越え、技術者・リーダーとして自信を手にした彼なら、これからも仲間を支え、共に成長していくに違いありません。



上司からの メッセージ

第二事業本部
北陸統括部若狭事業所
技術主任

ここがすごい!

何でも吸収して、何でもできるオールラウンダーなところですよ! どのような役割を与えてもやり遂げてくれる頼もしさがあります。たまに抜けているところも面白いと感じます。

メッセージ

教えがいのある後輩として、苦悩や喜びを共有できる仲間として、一緒に仕事ができることを嬉しく思っています。ときおり頑張りが過ぎてしまうことがあるため、健康を最優先に考え、長く活躍してほしいと願っています!

子育てと両立する、チーム21名のリーダー

第二事業本部 東海統括部 幸田事業所
工程リーダー



高いスキルが求められる製造現場で、21名のチームを率いながら、子育てと両立してリーダーシップを発揮しています。しかし、ここまでの道は平坦ではありませんでした。未経験で製造業に飛び込み、困難と慣習の壁に直面。独自の対話術で信頼を勝ち取り、成長してきた軌跡に、強さの源泉が隠されています。

01 入社の際や、入社当初の担当業務についてお聞かせください。

子どもが生まれてからは、コンビニエンスストアでアルバイトをしていました。もう少し収入を増やしたいと考え、フルタイムで働ける職場を探す中で出会ったのが、パーソルファクトリーパートナーズです。入社の手は、残業が比較的少なく、自宅から近いという点でした。子育てとの両立を考えた、とても現実的な選択だったと思います。入社当初は、接客業とは全く違う環境で、初めは戸惑うことばかりでした。作業自体は難しくなかったものの、決められた時間内に一定の数をこなすことや、同じ作業の繰り返しをすることなど、「モノづくりのリズム」に慣れるまでが、最初の試練でした。



02 未経験からリーダーへ。その中で、特に大きな壁と感じたご経験について教えていただけますか。

契約社員となり5年ほど働いた後、正社員となって現在の工程へ異動しました。しかし、想像以上に難しいことが多く何度もくじけそうになりました。そんなとき、「全部自分でやるのではなく、自分の代わりになる人材を育てるとうまく回るよ」と上司からアドバイスをもらいました。その言葉をきっかけに、自分一人で突き進むやり方を見つめ直したのです。「こうと決めたら進みたい」という思いを一方向的に押し付けるのではなく、相手の気持ちを汲み取り、伝え方を工夫する必要があると学びました。それから意識しているのは、ただ指示するのではなく、背景にある「なぜ」を共有するようにしています。

03 最後に、今後の目標についてお聞かせください。

リーダーになってからは、以前にも増して「責任」という言葉の重みを感じています。21名のメンバー一人ひとりの個性を活かし、全員を巻き込みながら働きやすい雰囲気を作ることが、今の私の役割です。現在、一番力を入れているのは人材育成です。次のサブリーダーを、私と同じように考え、行動できるレベルにまで育て上げることが当面の目標。そして3年後には、また別の工程でもリーダーとして仕事の幅を広げていきたいと考えています。これまでの経験で学んだコミュニケーションの大切さを、今後のチーム運営に活かし、会社に貢献していきます。

新規開拓の若き司令塔

第一事業本部 北海道統括部
千歳事業所 営業職



若くして事業所の外販営業を任せられ、新規開拓の最前線に立ち、同業種からの転職とはいえ、その抜擢に応える覚悟を持って臨んでいます。

入社から約1年、独自の信念を持って業務に取り組む彼に、その情熱の源泉と未来への展望を伺います。

01 ご入社の際や、事業所を任せられることになった経緯をお聞かせください。

以前、働いていた会社でも人材派遣の営業を担当していました。転職を考えていたとき、これまでの経験を活かせるところをベースに探していた中でパーソルファクトリーパートナーズに出会いました。入社の手は、面接で「基本的には1人で任せる」というお話をいただいたことです。面接していただいた今の部長の人柄にも惹かれ、楽しそうな職場だと感じたことも後押しになりました。

02 現在の業務内容と、日々大切にされている信念について教えていただけますか。

現在は千歳事業所で、新規営業を担当しています。今まで取引のないお客様に対し、電話営業やグループ会社からの紹介などを通じて接点を作り、商談から人材提供まで一通りの流れを担当。駐在している事務所には私1人しかいないため、常に自分を律しながら業務に励むことを意識しています。仕事で大切にしているのは、企業と求職者、そして当社のメリットを最大化させる方法を考えることです。企業は人材がいなければ現場が回らず、求職者も仕事が早く見つからなければ生活面で困る事になると思います。そのため、双方の機会損失を防ぐことを目的に、常にスピードを意識しています。

03 お仕事のやりがいは何でしょうか。

お客様に提案を説明し、納得いただけたときに得られる営業としての達成感と、ご紹介した方が現場で「働きぶりが大変良いです」とお褒めいただいたときです。企業と働く人を繋ぎ、社会貢献ができた実感できる瞬間に、最も大きなやりがいを感じます。

04 最後に、今後の目標と若手社員へのメッセージをお願いします。

この会社で働く限り、私にできることは何でもやってみたくと思っています。このまま営業で実績が認められ、責任者などの役職を任せいただけるなら積極的に挑戦したい。また、会社から声をかけていただければ、新しいことにも興味を持って取り組むつもりです。

お悩み相談室

「仕事の幅を広げたい」「焦ってミスしてしまう」といった不安や疑問を抱えていませんか？

そのような不安や疑問に、先輩社員が自身の経験を交えてアドバイス。明日への一步を踏み出すための、力強いエールを送ります！



私が回答します

第二事業本部 甲信遠統括部 松本事業所
工程リーダー



第二事業本部 東海統括部
三重営業所

Q

仕事の幅を広げたいと考えているのですが、どのような資格を取れば良いでしょうか？また、初めて取る資格としておすすめの資格などありますか？

A

作業者の健康と命を守る「有機溶剤作業主任者」。
安全管理の責任者として、ぜひチャレンジを。

配属されている工程ではおそらく、有機溶剤を扱う場面があるかと思います。作業現場での安全管理を行う責任者が必要になるため、「有機溶剤作業主任者」の資格を取るのはいかがでしょうか？作業者の健康と命を守る、大切な役割がある資格です。私も持っています。ぜひチャレンジしてみてください。

Q

入社して半年が経過しました。
今だからこそ気をつけることはありますか？

A

慣れ始めた今こそ初心に戻り、確認作業を怠らない。
「学びたい」という最初の気持ちを忘れずに。

業務に慣れ始めて油断が出やすい時期だと思います。確認作業を怠らないことが大切です。手順書などをもう一度見返すなどしてはどうでしょうか？1人でやるようになってきたときこそ初心に戻り、様々な業務に取り組むと良いと思います。そして、最初の頃の「学びたい、貢献したい」という気持ちを忘れずに取り組みましょう。



Q

初めての仕事ばかりで覚えることが多く、実践で活かそうとしたときに焦ったりわからなくなったりして、ミスしてしまいます。教えてもらったことを現場で焦らずに活かすにはどうしたら良いですか？

A

「完璧」より「1つ実践」でOK！
知識をメモやノートにまとめ、落ち着いて実践し、終業後の振り返りを

身につけた知識を落ち着いて実践に結びつけること。先輩に教えてもらったことをメモに取ったり、自分なりに噛み砕いてノートやExcelシートにまとめたりすることです。焦りの原因は「完璧にやらなきゃ」というプレッシャーもあると思います。1つでも実践できれば成長に繋がるはず。そして、終業後に「学んだことを活かせたか」「次は何を意識するか」を振り返りましょう！焦らず、一緒に頑張りましょう！

第二事業本部 甲信遠統括部
松本事業所

Q

担当している現場の作業を全て覚えようと思っているのですが、工程・機種数・作業数が多くて覚えきれいていません。効率良く覚えるにはどうしたら良いですか？

A

作業を見てメモを取り、自分用のリスト作成を。
一つひとつ時間をかけて覚え、思い出すことを意識して。

まずは、作業を見たり、メモをしたりして覚えていくのも良いと思います。工程・機種数・作業数が多いのですが、覚えた工程や作業を自分なりにメモにまとめて、自分専用のリストを作ると良いでしょう。一つひとつ、時間をかけて覚えること、覚えたことを思い出すことも意識していきましょう！



メッセージ

焦らず、仲間を頼りながら一歩ずつ前進して。

入社してようやく会社に慣れ始めてきた頃かと思います。様々な業務があり、覚えることが多くて大変ですが、皆さんのスポンジのような吸収力と前向きな姿勢に、期待しております！悩みや困りごとがあればすぐに仲間や上司に相談して、ストレスを溜め込まないようにしてください。焦らず一歩ずつ前進していくことが大切です。皆さんがこれから会社の主役となって「はたらいて、笑おう。」を実現できるよう、楽しくやりがいのある職場づくりを目指していきたいと思っています。これからも一緒に頑張っていきましょう。

私の人生グラフ

今回は、現場の第一線で活躍するお二人にインタビュー。それぞれがシフトリーダー、統括リーダーという責任ある立場を経験する中で、どのような壁に直面し、それを乗り越えてきたのか。苦勞の先に見えた自身の成長と、仕事への向き合い方の変化について伺います。



第三事業本部 関西統括部
奈良事業所
シフトリーダー

2018年4月、高校卒業後に新卒で入社。
地道にスキルを身につけ、入社時から配属されている工程で現在はシフトリーダーを担当。



苦手を克服し、視野を広げ続けるシフトリーダー

仕事と環境への適応に 苦勞した入社当初

2018年、工業高校を卒業し、新卒で入社しました。学生時代から製造業に興味があり、職場見学を通して魅力を感じたのがきっかけです。初めての仕事に期待していましたが、社会人としてのマナーや仕事の覚え方、数か月後から始まった交代勤務による生活リズムの変化への適応に苦勞しました。その後、作業自体に慣れ、一人でラインを回せるように。他のラインも担当するなど仕事の幅が広がるにつれて、モチベーションは回復しました。

応援先で直面した「違い」と プレッシャー

2020年10月頃、福井県の若狭事業所へ3か月間の応援が決まりました。当初は同じ作業工程で、新しい人間関係にも興味がありモチベーションは高かったのですが、すぐに壁に直面。新しい環境での人間関係の構築や、慣れない土地での生活に苦勞。しかし、応援期間の終わり頃にはコミュニケーションも取れるようになり、仕事もやりやすくなりました。この経験を通じ、仕事に対する視野が広がったと思います。

リーダー業務が 最大の転機に

入社5年目頃、シフトリーダーに任命されたことが最大の転機となりました。それまで、学生時代も含めてリーダー経験はありません。ラインが止まらないよう、悩む前にまず連絡・対応するよう行動が変化。上司のやり方を見たり、助言を受けたりしながら、「リーダー業務を通じて、苦手だったコミュニケーションにも慣れ、仕事の幅が広がった」と実感しています。



第三事業本部 兵庫統括部
やしろ事業所
統括リーダー

2013年8月入社。
やしろ事業所にて、その工程を牽引する統括リーダー。未経験で入社後、現場のスキルアップとリーダー経験を重ね、現在は安全管理者も兼務する。



リーダー研修の様子

粘り強く困難を乗り越え、プラスの変化を手にした統括リーダー

好奇心で新たな世界へ

好奇心から未経験のこの業界に応募しました。入社1年目の頃は落ち込むことも多くありましたが、それでも乗り越えられたのは、「覚えて、できるようになればいい」という精神です。食らいついて頑張った結果、他社が別のラインに移るタイミングで、私とその工程を引き継ぐことになりました。そして2年目からは「教える」立場へ。経験がほとんどなく、教えることの難しさを痛感しました。

転機となったサブリーダー就任で 「作業員」から「組織の中核」へ

それまでは1人の作業員としてスキルアップに励んでいました。それがサブリーダーになったことで、「組織の中核を担う」という自覚が芽生えてきたように思います。広い視野で物事を見たり、クライアントなど関わる人が増えたりする中で、人材育成も含めて責任感を強く感じるようになりました。P職に登用されたことも、意識が変わる大きなきっかけとなった出来事です。

苦勞を乗り越えて得た「プラスの変化」

2019年には工程リーダーに就任。当時は5名のチームで、初めてのリーダー業務に不安もありました。その後、別ラインの工程リーダーも兼任、さらには安全管理者と兼務が増え、業務量も増加。大変なこともありましたが、上司のサポートもあって乗り越えてきました。様々な苦勞を乗り越えたことで、忍耐力や粘り強さが格段に向上しました。また、リーダーとして多くの方々と関わる機会が増えたことで、対人関係を構築する力も身についたと感じています。そして何より、安全に対する捉え方や意識が、入社当初と比べて大きく変化しました。

この変化は、自分にとって非常に大きなプラスとなっています。

私の 職場自慢!



10代の若手から経験豊富なベテランまで、幅広い世代が互いに支え合う熊本事業所には、仕事への深い感謝と活気が満ちています。

私が
紹介します!

第一事業本部 九州統括部
熊本事業所

周辺環境 ココが 自慢!

都会と自然が調和した、
ストレスフリーな環境

事業所のある玉名郡和水町は、商業施設が整いつつ、都会すぎない点が魅力です。道が広く交通量も適度で、ペーパードライバーだった私でも安心して運転できます(笑) 事業所の目の前にバス停があり、入社当初はバス通勤でしたが、混雑もなく快適でした。現在の車通勤でも渋滞は稀で、余裕を持って出勤できます。また、残業がほぼなく定時に帰れるため、プライベートの時間をしっかり確保できるのも熊本事業所の良いところ。仕事後は趣味の時間でリラックスするなど、メリハリをつけた働き方ができます。

熊本事業所はこんなところ ばい!

幅広い世代の力が交わる相乗効果

10~30代の若手も多く活気があり、同時にパナソニックO Bのベテラン社員も10名ほど在籍しています。O Bの方は気さくな方ばかり。世代を超えたコミュニケーションも盛んで、ベテランの技術と若手の視点が良い相乗効果を生んでいます。

ここは私が
紹介します!

第一事業本部
九州統括部
熊本事業所 所長

